



旧矢掛脇本陣高草家住宅



指定区分	国指定重要文化財(建造物)
読みかた	きゅうやかげわきほんじんだかくさけじゅうたく
所在地	矢掛町矢掛
指定年月日	昭和44年6月20日
解説	<p>旧山陽道に面した、間口14間、約2,000平米の敷地に主屋、座敷など9棟の建物がある。主な建築年代は天保年間を中心とした19世紀半ばと考えられるが、中倉には宝暦14年(1764)の墨書銘がある。主屋は桁行16.2m、梁間8.9m、一部二階、入母屋造、南面及び北面庇付、本瓦葺。本陣の石井家から東約200mに位置し、同じ宿場に本陣と脇本陣が対で残っている数少ない例。高草家は代々世襲の庄屋を兼ねていた。</p>
アクセス方法	
公開状況	
設備	<p>トイレ  障害者用トイレ </p>
備考	